

# 産業建設常任委員会

日 時 令和3年10月26日（火）午後1時30～4時30分  
場 所 全員協議会室

---

## 1 開議

## 2 案件

- (1) 亀岡市観光協会の事業内容の見直しと改善策について  
(商工観光課との意見交換会)

## 3 その他

- (1) 森林整備・新規就農者に係る市の迅速な対策を求める緊急提言書  
について
- (2) 次回の日程について

3 議 第 1 1 3 5 号  
令和3年10月27日

亀岡市長 桂川 孝裕 様

亀岡市議会産業建設常任委員会  
委員長 赤坂 マリア

森林整備・新規就農者に係る市の迅速な対策を求める緊急提言書

貴職及び執行部各位におかれましては、平素より市政発展のため、御尽力いただいておりますことに敬意を表します。

さて、貴職も御承知のとおり、近年は、地震の発生や地球温暖化等による豪雨の発生に伴い土砂災害が頻発し、倒木等により市内の森林環境が日に日に悪化しています。土砂災害等を未然に防ぐためにも森林整備を至急に進めていかなければなりません。

第5次亀岡市総合計画の目的の中に、自然災害から人命を守り、社会・経済を最小限に食い止めるための防災・減災・危機管理対策の強化が一層重要と書かれています。

時は今であり、迅速に対応すること、また、府下でも有数の農地を有する本市の今後の農業を担う新規就農者・専業農家に対して、多様な支援が必要になってきます。

産業建設常任委員会として、市内の森林整備や新規就農者の基盤整備を願うことから、下記のとおり提言いたします。

記

(1) 森林整備に関すること

- ア 森林を整備することはもとより意識調査を早急に進め、しっかり予算を確保し、優先順位を決め事業計画を立てるとともに、迅速に事業を進められたい。
- イ 亀岡市森林組合の組織運営（プランナー育成）・補助金等の見直しや改善を行われたい。また、新規の林業事業者を開拓し、林業の新体制を構築されたい。
- ウ 木材の加工業者や木工作家等との連携や林業産業を確立されたい。
- エ 産業観光部農林振興課の職員を増員し、所管部を活性化させ、新しい人材を育てられたい。
- オ 木質バイオマス発電所について、企業との連携を考え、早急に事業実施されたい。

(2) 農業担い手・新規就農者に関すること

- ア 本市独自の支援制度をつくり、新規就農者が円滑に事業を推進できるようにされたい。
- イ 新規就農者・専業農家については、専用の販売スペースやアンテナショップを設け、安定した出荷ができるようにされたい。
- ウ 新規就農者を主としたイベント等を定期的で開催されたい。
- エ 新規就農者が農業に参画しやすい環境づくりを構築し、亀岡市全体の農業を真剣に考え、しっかり食を守っていかれたい。
- オ 新規就農者への補助制度が終了した後も、引き続き安定した手厚い支援を行われたい。
- カ 農業次世代の人材育成に必要な担い手専任マネージャーを増員されたい。

産業建設常任委員会	委員長	赤坂	マリア
	副委員長	奥野	正三
	委員	田中	豊
		小川	克己
		藤本	弘
		木曾	利廣
		菱田	光紀

3 議 第 1 1 3 5 号  
令和3年10月27日

亀岡市長 桂川 孝裕 様

亀岡市議会産業建設常任委員会  
委員長 赤坂 マリア

本市の観光振興推進に係る市の迅速な対策を求める緊急提言書

本市は、SDGs 未来都市に選定されるなど、新たなまちづくりに向けた取組を他の自治体に先駆けてチャレンジしておられます。人と時代に選ばれるリーディングシティ 亀岡を目指す中、一般社団法人亀岡市観光協会に観光プロモーションを委託されていますが、未だに観光振興の体制が整っておらず、また、誘客についても成果が表れておらず、このままでは亀岡の観光が衰退することが危惧されます。まだまだ新型コロナウイルス感染症は、予断を許さない状況ではありますが、成長戦略「インバウンド」獲得など、地域経済を活性化させるため、亀岡の観光振興をもう一度、真摯に考え、組織等をリニューアルし、亀岡市を全国へ発信することが必要になってきます。

ついては、産業建設常任委員会として、本市の観光振興の取組を抜本的に見直すこととして、下記のとおり提言いたします。

記

(1) 観光振興に関すること

- ア 亀岡市観光協会に対して、適正な補助金を支出されたい。
- イ 亀岡市観光協会の組織を立て直すため、優秀な人材の獲得・育成による今後の体制強化に協力されたい。
- ウ 観光案内所を今まで以上に効率化し、質の向上に取り組んでいかなければならないため、現案内所を改札出口正面に移動し、旅行者が安心して利用できる環境を築かれたい。
- エ 今後、本市の観光振興を推し進めるために、関係機関がしっかり参画する中で、推進する目的・手順・効果について、共通の認識を醸成しながら進められたい。

産業建設常任委員会	委員長	赤坂	マリア
	副委員長	奥野	正三
	委員	田中	豊
		小川	克己
		藤本	弘
		木曾	利廣
		菱田	光紀